

競技注意事項

本大会は、2020年度(公益財団法人)日本陸上競技連盟競技規則、ならびに本大会申し合わせ事項により行う。

1. 練習について

(1) 練習は役員の手指示により競技場内で行うものとする。

2. 召集について

(1) 召集は、第4コーナー(100mスタート付近)に設ける。

(2) 召集開始及び召集完了時刻は、下記の通りである。

種目	召集開始時刻	召集完了時刻
トラック	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
跳躍	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
投てき	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(3) 競技者は、出場種目の召集時間までに召集所に掲示した出場競技者一覧にチェックをする。このチェックは代理人でもよい。

(4) 同時刻に2種目以上をかねて出場する選手は、予めその旨を召集の際、競技者係に申し出ること。

(5) 召集完了時刻に遅れた選手は、棄権とみなす。

(6) 競技者の棄権については、大会の権威と運営の円滑に期するために、当日の棄権は原則として認めない。やむを得ず棄権する場合は、棄権届けを競技者係(召集所)に提出すること。

3. 競技について

(1) トラック競技はすべて写真判定で行う。

(2) スパイクシューズのピンは、トラックは7mm以下、フィールドは9mm以下とする。走高跳と、やり投げは12mm以下とする。

(3) ナンバーカードはユニホームの胸背部に固定すること。ただし、走高跳に出場する際は、胸部または背部だけでよい。

(4) リレーにおける助走マークは、前走者が必ず取り除くこと。

(5) 跳躍種目と投てき種目については、試技数を5回とする(新型コロナウイルス感染防止のため)

4. バーの上げ方について

(1) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

(2) 競技者が1名になった場合や、第1位が同成績のときの順位決定の場合、バーの上げ方については審判長に一任する。

	練習	1	2	3	4
走高跳男	1 m 60	1 m 65	1 m 70	1 m 75	1 m 80・・・
走高跳女	1 m 30	1 m 35	1 m 40	1 m 45	1 m 50・・・

5. リレーのオーダーについて

- (1) リレーのオーダーは、予選・決勝とも競技者(4名)の氏名と走順を所定のオーダー用紙に記入し、召集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。用紙は召集所に用意する。

6. 本大会の申し合わせ事項により、トラック種目における不正スタート(フライング)は、同一のレースにおいて1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者はすべて失格とする。また、同一競技会での警告2回で当該種目のみを失格とし、それ以後のすべての種目からの種目から除外しないものとする。

7. 用器具について

- (1) やり、円盤、砲丸、棒高跳のポールは主催者側が用意したものを使用すること。各チームで持参した用器具は検査を受け使用すること。なお、検査は競技開始1時間前に召集所で行う。
- (2) 棒高跳のポールは110mHのスタート地点の横にある倉庫に置くこと。

8. 表彰について

- (1) 各種目とも3位までの入賞者に表彰を授与する。

9. 競技用靴について

- (1) 本競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンの本数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。
- (2) ワールドアスレティックス規則第143条(テクニカルルール第5条)のルール再改訂において、日本国内での適用について(2020年8月15日付)を適用する。

10. その他

- (1) 大会時の怪我・事故・病気については、主催者側では責任を負わない。また、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を主催者は一切負わない。
- (2) 貴重品の管理は各人で行うこと。
- (3) 選手の更衣は、競技場更衣室を利用することができる。
- (4) ごみは各大学で責任を持って集め、持ち帰ること。

11. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 競技中を除いて、原則マスクを着用すること。
- (2) 休憩待機所、練習会場および招集所等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (3) 飛沫拡散を防ぐため、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話は避けること。
- (4) 競技会終了後2週間以内(11/21)に新型コロナウイルス感染症の発症が確認された時は、必ず主催者(岡山大学)と岡山学生陸上競技連盟事務局へ連絡をすること。